

厚生労働省告示第 392 号／平成 28 年 11 月 17 日告示／平成 28 年 11 月 18 日施行

区分	商品名	規格単位	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	備考
内用薬	エビリファイ錠 1mg	1mg1 錠	大塚製薬	アリピプラゾール	<ul style="list-style-type: none"> 統合失調症 双極性障害における躁症状の改善 うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る) 小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性 	<ul style="list-style-type: none"> 統合失調症 通常、成人にはアリピプラゾールとして 1 日 6～12mg を開始用量、1 日 6～24mg を維持用量とし、1 回又は 2 回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 30mg を超えないこと。 双極性障害における躁症状の改善 通常、成人にはアリピプラゾールとして 12～24 mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、開始用量は 24mg とし、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 30mg を超えないこと。 うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る) 通常、成人にはアリピプラゾールとして 3mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は 1 日量として 3mg とし、1 日量は 15mg を超えないこと。 小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性 通常、アリピプラゾールとして 1 日 1mg を開始用量、1 日 1～15mg を維持用量とし、1 日 1 回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は 1 日量として最大 3mg とし、1 日量は 15mg を超えないこと。 	処方、劇	新効能 新用量 剤形追加
内用薬	ミカトリオ 配合錠	1 錠	日本ベーリンガーインゲルハイム	テルミサルタン/アムロジピンベシル酸塩/ヒドロクロロチアジド	高血圧症	成人には 1 日 1 回 1 錠(テルミサルタン/アムロジピン/ヒドロクロロチアジドとして 80mg/5mg/12.5mg)を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。	処方、劇	新医療用 配合剤

内用薬	ジャクスタピツドカプセル 5mg	5mg 1 カプセル	AEGERIONP HARMACEU TICALS	ロミタピド メシル酸塩	ホモ接合体 家族性高コレステロール血症	通常、成人には、1日1回夕食後2時間以上あけて、ロミタピドとして5mgの経口投与から開始する。忍容性に問題がなく、効果不十分な場合には2週間以上の間隔をあけて10mgに増量する。さらに増量が必要な場合には、4週間以上の間隔で忍容性を確認しながら段階的に20mg、40mgに増量することができる。	処方、劇	新有効成分
	ジャクスタピツドカプセル 10mg	10mg 1 カプセル						
	ジャクスタピツドカプセル 20mg	20mg 1 カプセル						
内用薬	ウプトラビ錠 0.2mg	0.2mg1錠	日本新薬	セレキシパ グ	肺動脈性肺高血圧症	通常、成人にはセレキシパグとして1回0.2mgを1日2回食後経口投与から開始する。忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で1回量として0.2mgずつ最大耐用量まで増量して維持用量を決定する。なお、最高用量は1回1.6mgとし、いずれの用量においても、1日2回食後に経口投与する。	処方	新有効成分
	ウプトラビ錠 0.4mg	0.4mg1錠						
内用薬	ゼンタコート カプセル 3mg	3mg 1 カプセル	ゼリア新薬 工業	ブデソニド	軽症から中等症の活動期 クローン病	通常、成人にはブデソニドとして9mgを1日1回朝経口投与する。	処方	新投与経路
内用薬	リアルダ錠 1200mg	1200mg1錠	持田製薬	メサラジン	潰瘍性大腸炎(重症を除く)	通常、成人にはメサラジンとして1日1回2,400mgを食後経口投与する。活動期は、通常、成人にはメサラジンとして1日1回4,800mgを食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。	処方	新剤形
内用薬	ブリリント錠 60mg	60mg1錠	アストラゼネ カ	チカグレロ ル	① 以下のリスク因子を1つ以上 有する陳旧性心筋梗塞のうち、ア テローム血栓症の発現リスクが 特に高い場合 65歳以上、薬物療法を必要とす	① 通常、成人には、チカグレロルとして1回60mgを1日2回経口投与する。 ② 通常、成人には、チカグレロルとして初回用量を180mg、2回目以降の維持用量を90mgとして、1日2回経口投与する。	処方	新有効成分

	ブリリント錠 90mg	90mg1錠			<p>る糖尿病、2回以上の心筋梗塞の既往、血管造影で確認された多枝病変を有する冠動脈疾患、又は末期でない慢性の腎機能障害</p> <p>② 経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞)(ただし、アスピリンを含む抗血小板剤2剤併用療法が適切である場合で、かつ、アスピリンと併用する他の抗血小板剤の投与が困難な場合に限り)</p>		
内用薬	イニシク 配合錠	1錠	武田薬品 工業	アログリプチ ン安息香酸 塩/メホル ミン塩酸塩	2型糖尿病 ただし、アログリプチン安息香酸塩及びメホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限り。	通常、成人には1日1回1錠(アログリプチン/メホルミン塩酸塩として25mg/500mg)を食直前又は食後に経口投与する。	処方、劇 新医療用 配合剤
内用薬	カーバグル 分散錠 200mg	200mg1錠	ポーラ ファルマ	カルグルミン 酸	<p>下記疾患による高アンモニア血症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・N-アセチルグルタミン酸合成酵素欠損症 ・イソ吉草酸血症 ・メチルマロン酸血症 ・プロピオン酸血症 	通常、1日に体重kgあたり100mg～250mgより開始し、1日2～4回に分けて、用時、水に分散して経口投与する。その後は患者の状態に応じて適宜増減する。	処方 新有効成分

内用薬	アイクルシグ錠 15mg	15mg1 錠	大塚製薬	ポナチニブ塩酸塩	前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病	通常、成人にはポナチニブとして 45mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	処方、劇	新有効成分
内用薬	デザレックス錠 5 mg	5mg1 錠	MSD	デスロラタジン	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	通常、12 歳以上の小児及び成人にはデスロラタジンとして 1 回 5 mg を 1 日 1 回経口投与する。	処方	新有効成分
内用薬	ピラノア錠 20mg	20mg1 錠	大鵬薬品工業	ピラスチン	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	通常、成人にはピラスチンとして 1 回 20 mg を 1 日 1 回空腹時に経口投与する。	処方	新有効成分
内用薬	リフキシマ錠 200mg	200mg1 錠	あすか製薬	リファキシミン	肝性脳症における高アンモニア血症の改善	通常、成人にはリファキシミンとして 1 回 400mg を 1 日 3 回食後に経口投与する。	処方	新有効成分
内用薬	エレルサ錠 50mg	50mg1 錠	MSD	エルバスビル	セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善	通常、成人にはエルバスビルとして 50mg を 1 日 1 回経口投与する。本剤はグラゾプレビルと併用し、投与期間は 12 週間とする。	処方	新有効成分
内用薬	グラジナ錠 50mg	50mg1 錠	MSD	グラゾプレビル水和物	セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善	通常、成人にはグラゾプレビルとして 100mg を 1 日 1 回経口投与する。本剤はエルバスビルと併用し、投与期間は 12 週間とする。	処方	新有効成分
注射薬	シグニフォーLAR 筋注用キット 20mg	20mg1 キット(溶解液付)	ノバルティスファーマ	パシレオチドパモ酸塩	下記疾患における成長ホルモン、IGF-I(ソマトメジン-C)分泌過剰状態及び諸症状の改善先端巨	通常、成人にはパシレオチドとして 40 mg を 4 週毎に 3 カ月間、臀部筋肉内に注射する。その後は患者の病態に応じて、20 mg、40 mg 又は 60 mg を 4 週毎に投与する。	処方、劇	新有効成分

	シグニフォー LAR 筋注用 キット 40mg	40mg1 キット (溶解液 付)			大症・下垂体性巨人症(外科的 処置で効果が不十分又は施行が 困難な場合)			
	シグニフォー LAR 筋注用 キット 60mg	60mg1 キット (溶解液 付)						
注射薬	プリズバインド 静注液 2.5g	2.5g50mL 1 瓶	日本ベーリン ガーイン ゲルハイム	イダルシズ マブ(遺伝子 組換え)	以下の状況におけるダビガトラン の抗凝固作用の中和・生命を脅 かす出血又は止血困難な出血の 発現時・重大な出血が予想され る緊急を要する手術又は処置の 施行時	通常、成人にはイダルシズマブ(遺伝子組換え)として1回5g(1バイアル2.5g/50mL)を2バイアル)を点滴静注又は急速静注する。ただし、点滴静注の場合は1バイアルにつき5～10分かけて投与すること。	生物、 処方	新有効成分
注射薬	トルツ皮下 80mg シリンジ	80mg1mL 1 筒	日本イーラ イリリー	イクセキズ マブ(遺伝子 組換え)	既存治療で効果不十分な下記疾 患尋常性乾癬、関節症性乾癬、 膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症	通常、成人にはイクセキズマブ(遺伝子組換え)として初回に160mgを皮下投与し、2週後から12週後までは1回80mgを2週間隔で皮下投与し、以降は1回80mgを4週間隔で皮下投与する。	生物、 劇、処方	新有効成分
	トルツ皮下 80mg オートイ ンジェクター	80mg1mL 1 キット						
注射薬	リクラスト点滴 静注液 5mg	5mg100mL 1 瓶	旭化成 ファーマ	ゾレドロン酸 水和物	骨粗鬆症	通常、成人には1年に1回ゾレドロン酸として5mgを15分以上かけて点滴静脈内投与する。	処方、劇	新効能 新用量 剤形追加
注射薬	エムプリシティ 点滴静注用 300mg	300mg1 瓶	ブリistol・ マイヤーズ スクイブ	エロツズマ ブ(遺伝子 組換え)	再発又は 難治性の多発性骨髄腫	レナリドミド及びデキサメタゾンとの併用において、通常、成人にはエロツズマブ(遺伝子組換え)として1回10mg/kgを点滴静注する。28日間を1サイクルとし、最初の2サイクルは1週間間隔で4回(1、8、15、22日目)、3サイクル以降は2週間間隔で2回(1、15日目)点滴静注する。	処方、劇	新有効成分
	エムプリシティ 点滴静注用	400mg1 瓶						

	400mg							
注射薬	イデルピオン 静注用 250	250 国際単 位 1 瓶(溶 液付)	CSL ベーリ ング	アルブトレベ ノナコグアル ファ(遺伝子 組換え)	血液凝固第 IX 因子欠乏患者に おける出血傾向の抑制	本剤を添付の溶解液全量で溶解し、緩徐に静脈内に注射する。通常、1 回体重 1 kg 当たり 50 国際単位を投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。定期的に投 与する場合、通常、体重 1 kg 当たり 35~50 国際単位を 7 日に 1 回投与する。 また、患者の状態に応じて、体重 1 kg 当たり 75 国際単位の 14 日に 1 回投与に変 更することもできる。なお、いずれの投与間隔においても投与量は適宜調節するが、 1 回体重 1 kg 当たり 75 国際単位を超えないこと。	生物、 処方	新有効成分
	イデルピオン 静注用 500	500 国際単 位 1 瓶(溶 液付)						
	イデルピオン 静注用 1000	1000 国際 単位 1 瓶 (溶解液 付)						
	イデルピオン 静注用 2000	2000 国際 単位 1 瓶 (溶解液 付)						
外用薬	ミケルナ 配合点眼液	1mL	大塚製薬	カルテオロ ール塩酸塩 /ラタノプロ スト	緑内障、高眼圧症	1 回 1 滴、1 日 1 回点眼する。	処方	新医療用 配合剤
歯科用 薬剤	リグロス歯科 用液キット 600 μ g	600 μ g 1 キット	科研製薬	トラフェルミ ン(遺伝子 組換え)	歯周炎による歯槽骨の欠損	歯肉剥離搔爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。	処方	新投与経路
	リグロス歯科 用液キット 1200 μ g	1200 μ g 1 キット						

厚生労働省告示第 407 号／平成 28 年 12 月 7 日告示／平成 28 年 12 月 8 日施行

区分	商品名	規格単位	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	備考
内用薬	プレジコビック ス配合錠	1 錠	ヤンセンファ ーマ	ダルナビル エタノール 付加物/コピ シスタット	HIV 感染症	通常、成人には 1 回 1 錠(ダルナビルとして 800 mg、コピシスタットとして 150 mg を含有)を 1 日 1 回食事中又は食直後に経口投与する。投与に際しては、必ず他の抗 HIV 薬と併用すること。	劇、処方	新有効成分 新医療用配 合剤